

目次

- 1 財務ハイライト
- 2 ご挨拶
- 4 事業活動の概要
- 10 日産マネジメントウェイ
- 12 商品
- 16 デザイン
- 18 テクノロジー
- 22 環境
- 24 安全
- 26 生産
- 29 購買
- 30 マーケティング・販売
- 35 販売金融
- 36 グローバル企業としての役割
- 38 ルノーとの提携
- 40 モータースポーツ
- 41 産業機械・マリーン事業
- 42 役員
- 44 会社の概要
- 45 財務セクション
 - 45 5年間の主要連結財務データ
 - 46 財務レビュー
 - 50 連結貸借対照表
 - 52 連結損益計算書
 - 53 連結株主持分計算書
 - 54 連結キャッシュ・フロー計算書
 - 55 連結財務諸表の注記
 - 84 公認会計士の監査報告書
 - 85 5年間の主要単独財務データ
- 86 主要関係会社

表紙:タイタン キングキャブ

ビジョン

日産:人々の生活を豊かに

ミッション

わたくしたち日産は、独自性に溢れ、革新的なクルマやサービスを創造し、その目に見える優れた価値を、全てのステークホルダーに提供します。それらはルノーとの提携のもとに行っていきます。

注:ステークホルダーとは、お客さま、株主、社員、販売会社、部品メーカー、そして、私たちが働き事業を営む地域社会を指します。

2003年度も引き続き、前年度実績と予測値を上回る業績をあげることができました。営業利益は、前年度に比べ11.9%増加し、過去最高の8,249億円となりました。これは4年前の営業利益の約10倍にあたります。自動車事業実質有利子負債は当初予測を大きく下回り、136億円にとどまりました。また、投下資本利益率は目標の20%を上回り、過去最高の21.3%に達しました。

「日産180」の最終年度に入り、当社は持続的な利益ある成長に向けて着実に進んでいます。“人々の生活を豊かに”という企業ビジョンのもと、これからも新たな挑戦に取り組んでまいります。そして、世界中で強化されてきた日産の力を礎に、2005年度からは新たな3か年計画「日産パリュアアップ」を展開して、この成長を継続的なものにしてまいります。

見直しに関する注意事項

このアニュアルレポートの記載内容のうち、歴史的事実でないものは、当社の将来にかかわる計画、目標およびそれに基づく商品計画や投資・生産の見直しです。実際の業績は、さまざまな要因により、これらの見直しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おさください。日産の事業活動やその展開だけでなく、世界経済の動向や自動車産業を取り巻く情勢の変化なども、実際の業績に大きな影響を与え得る要因に含まれています。